

大麦特報 (第4号)

平成28年3月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

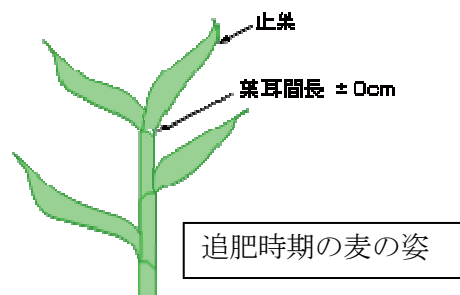
今年の大麦の止葉展開期は今後平年並みの気温で推移した場合、4月2日～4日頃(出穂期は4月13～15日頃)と予測され、平年に比べ7日程度早くなる見込みです。赤かび病の防除は、ほ場ごとに生育状況を確認し、適期作業に努めましょう。

止葉展開期追肥

・大麦専用基肥一発肥料を施肥したほ場では原則として、止葉展開期の追肥は施用しない

【分施肥系ほ場の追肥の目安】

葉色	m ² 当たり茎数	10a当たり施用量	追肥時期
5未満	670本未満	硫安 5～10kg	4月2日 ～4日
	670本以上	硫安 5kg以内	
5以上		追肥しない	



赤かび病の防除

重点防除対象の赤かび病は、特に1回目の防除が効果に大きく影響します。播種・出穂時期ごとに開花状況を確認し、適期防除に努めましょう。

また、赤かび粒の混入限度が0.0%と厳しく定められているので、2回防除(穂揃期とその7日後)を徹底してください。

【防除体系及び農薬名】

粉剤体系

1回目: 穂揃期(4月17～19日頃) トップジンM粉剤DL (4kg/10a)	+	2回目: 1回目散布の7日後 ワークアップ粉剤DL (3kg/10a)
--	---	---

液剤体系

1回目: 穂揃期(4月17～19日頃) トップジンM水和剤 (1000倍 150 ^{リットル} /10a)	+	2回目: 1回目散布の7日後 シルバキュアフロアブル (2000倍 150 ^{リットル} /10a)
--	---	---

※可能な限り防除効果の高い、液剤体系とする。

※無人ヘリコプター散布の希釈倍率は異なるので注意する。

※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、風の弱い時間帯に散布する。

排水対策

排水不良ほ場では、根張りが悪く、施肥効果が低くなるため、排水溝の手直し等により環境改善を行いましょう。

※溝が緑(藻・苔)のほ場は早急に対応する！

